

有機農業技術のつぼ

【NO. 3】

作物名	水稲
対応技術の項目	除草技術
	生物的・物理的防除法
	アイガモによる除草・機械除草

《情報収集先の経営概要等》

せたな町 横山 一康 氏 経験年数10年（うち有機年数10年）
 経営耕地面積 5.26ha（うち有機面積1.11ha）
 水稲 4.02ha（うち有機面積1.05ha）
 緑肥 0.14ha
 牧草 1.00ha
 露地アスパラガス 0.10ha（うち有機面積0.06ha）
 労働力 家族労働2人（繁忙期に臨時雇用）
 有機JAS認定の取得状況（H15年取得）

問題点

除草剤を使用しないため、雑草管理が極めて困難となった

- 収量・品質に大きな影響があった

対応

水田除草にアイガモ・機械除草機を導入

つぼ

- 健苗育成、均平のとれたほ場条件であることなど、基本技術の励行が前提となる
 ※ 代かき：移植1日前
 育苗様式：中苗マット
- アイガモの利用方法
 放飼数：10羽/10a
 放飼時期：6月上旬～7月上旬



※ 対応技術活用上の注意点

- ・ 雑草が生長するため、代かきから移植までの日数を短くする
- ・ 移植後なるべく早く1回目の除草を行う
- ・ 除草の間隔は空けない
- ・ アイガモ放飼前後は必要に応じて除草機・手取り除草を行う

成果

慣行栽培と遜色ない収量となった

- 導入前 420kg/10a → 導入後 590kg/10a

【参考】



(株)美善^{びぜん} あめんぼ号 6条用SGL-6T



丸山製作所 MKC30-5+アタッチ2条